



校長だより 第46号

# すてきな島



H28.3.11 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつは先に」  
「返事は大きく」  
「気づき、考え、行動する」

## 第69回卒業式 3.4(金)

第69回日間賀中学校卒業式を行いました。卒業生も在校生も立派な態度で、温かいすばらしい卒業式になりました。これから、それぞれの道に進みますが、卒業生の皆さんのいっそうの活躍を期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



## 第69回卒業式 校長式辞（一部省略）

日間賀中学校を卒業していく十九名の皆さん、卒業おめでとうございます。

私は、卒業生の皆さんとは二年間の付き合いでしたが、この二年間の皆さんを見てきてすごく感じるがあります。それは、あなたたちは「本当に成長した」ということです。

皆さんは今日に到るまで、日頃の授業や部活動はもちろん、修学旅行、島民体育祭、学校祭、合唱コンクールなど、どれも本当によくがんばってくれました。特に、十二月に行われた合唱コンクールでの皆さんの歌声は忘れられません。とてもすばらしく、私も含め、たくさんの方が感動し、涙も流しました。また、和太鼓では、学校の中心となって取り組み、和太鼓の先生の吉村城太郎先生が、「この子たちは本当にやる気があってすばらしい」といつも言ってくれていたのを覚えています。

皆さんのがんばり、また、成長していく姿は、一、二年生に「私たちもあんな三年生になりたい。」という、あこがれと目標を与えてくれたことと思います。本当にありがとうございました。

ここで、旅立つ皆さんに、最後に三つ話をしたいと思います。

一つ目は、「自分探しの旅」についてです。

先週、私は卒業生の皆さんに一時間授業をさせていただきました。「ぼくを探しに」という絵本をもとに行った、人生について考える道徳の授業でした。そこで皆さんは、いろいろなことを考え、たくさんの方を感じてくれました。「欠けているところがある方が魅力的」「足りないところがあるからこそ、たくさんの方ができる」ということに気づいた人も多くいました。

完璧でなくていいのです。欠けているところがあっても、それを埋めるために、努力している人の方が魅力的なのです。「人生は自分探しの旅」です。足りないところのある、ありのままの自分を大切にしながら、これからの人生を歩んでいってほしいと思います。

二つ目は、「自分の道は自分で切り開く」ということです。

詩人である相田みつをさんの次の言葉を贈ります。

「道は自分でつくる 道は自分でひらく 人のつくったものは 自分の道にはならない」という言葉です。

中学校までは義務教育で、ここまでは皆、同じように来たわけですが、これからは、自分の人生は自分で切り開くしかありません。卒業後の進路を考えるにあたり、皆さんは、自分の将来について考え、志望校を決めたことと思います。これからの人生は、その連続になるのです。

自分の道をつくれるのは自分だけです。ぜひ、自分の進むべき道を、自分でしっかり考え、決断をし、切り開いていってほしいと思います。

そして、三つ目は、「感謝の心」についてです。

私は、皆さんの入試の面接の練習をさせてもらいましたが、その時に、全員に一つだけ同じ質問をしました。それは、「この日間賀島のよさを教えてください」という質問です。そこで、皆さんは、この島のよさをいろいろと答えてくれましたが、ほとんどの人が次の言葉を言っていました。

「日間賀島のよさは、島民の方があたたかいところです。」本当にその通りだと思います。

先週の卒業生を送る会でも、その温かさを感じることができたのではないのでしょうか。送る会のラストでのサプライズ、とても感動的でした。一、二年生の生徒、教師だけでなく、何とお母さん方も一緒になって踊ってくださったグンス。会当日に向けて、皆さんのために、何日も一生懸命に練習をしてくださったのです。子ども思いの、本当に温かい、すてきなお母さん方だなあとことを思いました。

さらに、昨日のことです。そこに千羽鶴が飾られています。地域の方が、日間賀小、中学校の子どもたちのために、千羽鶴を届けてくださったのです。それも、小中学校の全クラス、九たばもです。このことから、改めてこの島の方々の温かさ、子どもたちに対する思いというものを実感しました。

皆さんは本当に幸せ者ですね。あなたたちが今感じている幸せや島の方々にお世話になったことを決して忘れないでください。特に、どんな時でも、我が子の成長を信じて、あなたたち子どもを最優先に考えてくれた親への感謝の気持ちを絶対に持ち続け、これから先、何事にも精一杯努力していってほしいと思います。

それでは、最後に、卒業生の皆さんが、これからもこの島を愛し続け、島を担う若者として、元気で、たくましい大人へと成長してくれることを期待するとともに、本日お集まりいただきました、すべての皆様に心より感謝を申し上げます。

そして、この日間賀中学校の、純粹で、素直で、思いやりがあり、いつも一生懸命、そんなすてきなあなたたちに出会えたことを心から誇りに感じ、お礼を言いたいと思います。

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。そして、本当にありがとう。

以上で、式辞といたします。

平成二十八年三月四日

南知多町立日間賀中学校長 井本 仁